Alcon

日本アルコン株式会社　会社案内

Alcon Japan Ltd.

We Help People
See Brilliantly.

人々に、素晴らしい視界を

私たちアルコンは、素晴らしい視界がもたらす素晴らしい人生に貢献するために、
人生が変わるような眼科製品のイノベーションで世界のリーダーを目指します。

アルコンは、患者様に最善の治療結果がもたらされるよう、最も幅広い眼科サージカル製品群と
技術力の高いコンタクトレンズやレンズケア製品群を取り揃えています。
これらの製品は、白内障、網膜疾患、屈折異常といった眼疾患に悩む多くの方々の治療に役立てられています。

私たちは視界という贈り物を世界中のより多くの方々にお届けするため、アイケア専門家とのパートナーシップにより、
最先端のイノベーションを生み出してきました。これが、アルコンが70年以上にわたって受け継いできた財産であり、
アルコンが明るい未来を築いていくための道しるべとなります。

www.alcon.co.jp

Message | ごあいさつ

アルコンはグローバルで 70 年以上、日本においては 45 年以上にわたり、常にアイケアに特化して、革新的かつ高品質な製品を提供すべく努めてまいりました。そして、今や世界売上 No.1 にまで成長し、本年 4 月には、独立企業として新たな道を歩み始めることができました。これもひとえにアルコンを支えてくださった多くの皆様の厚いご支援の賜物と心よりお礼申し上げます。

アルコンの目的は、アイケアのグローバルリーダーとして「人々に素晴らしい視界がもたらされるよう貢献する」ことです。そのために業界最高レベルの研究開発投資を行い、社内のみならず社外の革新的技術を取り込み、眼科領域のイノベーションを推進してまいりました。現在、アルコンでは100以上の開発プロジェクトが進められており、2016年以降の事業開発やライセンス契約件数は20以上にもなります。

そして、これらのイノベーションをいち早く日本のお客様や患者様にお届けし、より良い治療結果がもたらされるよう、日本でも多くの取り組みを日々行っております。例えば、日本全国にあるアルコン・エクスペリエンス・センターでは実際の医療現場で役立てていただくための体験型研修やセミナーなど、さまざまな機会を定期的に提供しております。また、当社は、日本の眼科医療の発展に貢献するために、学会やセミナーへの支援、研究・教育助成、眼科海外フェローシップ支援プログラム Alcon Japan Hida Memorial Award 等を長年にわたり実施してきました。さらに社会に貢献するため、製品寄附を通じて、眼科医療に恵まれない国や地域の方々に治療を提供するメディカルミッションを支援し、質の高いアイケアへのアクセス向上に寄与しております。

アルコンは、引き続き人生が変わるような眼科製品のイノベーションで世界のリーダーを目指し、一人でも多くの方に素晴らしい視界がもたらされ、素晴らしい人生のお手伝いができるよう社員一同まい進してまいります。

今後とも当社への一層のご愛顧とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

日本アルコン株式会社　代表取締役社長
ロジャー・ロペス

Our Roots | アルコンのルーツ

テキサスの小さなドライブイン薬局からスタート

アルコンは、1945年に2人の薬剤師、Robert Alexander（ロバート・アレクサンダー）の「AL」とWilliam Conner（ウィリアム・コナー）の「CON」を組み合わせて「Alcon」と名付けられた、ドライブインの眼科薬局からスタートしました。

当時、成分の一定した滅菌済み点眼薬がなかったため、“安心して手軽に使える点眼薬”を目指し、1947年にアルコンラボラトリーズインコーポレーテッドを設立。その後、国際事業に着手し、1973年には日本法人を立ち上げました。それ以来、当社はグローバルで70年以上、日本においても45年以上にわたって、アイケアに特化した、高品質で革新的な製品を提供し、アイケア業界をけん引してきました。

左：ロバート・アレクサンダー（1912–1985）
右：ウィリアム・コナー（1907–1992）

Our Legacy of Innovation | アイケア業界をけん引するイノベーション

アルコンはマテリアルサイエンス、界面化学、光学の深い専門知識を武器に、アイケアにおける業界初のイノベーションを数多く生み出してきました。

Surgical

- 1973年 折り畳み式アクリル製眼内レンズ（アクリソフ）★
- 1981年 眼科手術で使用される眼灌流・洗浄液（ビーエスエス）○
- 1982年 折り畳み式アクリル製シングルピース眼内レンズ★
- 1986年 オキシグルタチオン眼灌流・洗浄液（ビーエスエスプラス）★
- 1988年 折り畳み式アクリル製ブルーライトフィルター付き眼内レンズ（世界展開）★
- 1993年 デジタル型の白内障・硝子体手術装置（アキュラス）★
- 1994年 業界スタンダードの分散型眼粘弾剤（ビスコート）
- 1998年 角膜乱視を矯正するアクリル製トーリック眼内レンズ★
- 2000年 フェムトセカンドレーザー白内障手術装置★
- 2002年 灌流制御システムを搭載した次世代型白内障手術装置★
- 2003年 自動プリロード眼内レンズデリバリーシステム★
- 2005年 白内障治療向け老視矯正3焦点眼内レンズ
- TODAY

Vision Care

- 1981年 カラーソフトコンタクトレンズを製造★
- 1987年 遠近両用ソフトコンタクトレンズを開発★
- 1988年 定期交換型のソフトコンタクトレンズを開発★
- 1993年 シリコーンハイドロゲル（SiHy）素材のコンタクトレンズを開発★
- 1995年 マルチパーパスソリューション（MPS）タイプのレンズケア製品に2種類の洗浄成分を配合★
- 1998年 最長30日間連続装用のコンタクトレンズを開発★
- 2001年 ジェルタイプ潤滑点眼剤を発売★○
- 2002年 防腐剤無添加ワンボトル式 過酸化水素タイプのレンズケア製品を開発★
- 2003年 マイボーム腺機能不全（MGD）用のエマルジョン点眼剤を開発★○
- 2004年 水分三層（ウォーターグラディエント）構造、SiHy素材の1日使い捨てコンタクトレンズを開発★
- 2005年 老視患者向けの水分三層（ウォーターグラディエント）構造のソフトコンタクトレンズを開発★
- TODAY

★＝ 業界初
○＝ 日本未承認

Today's Alcon | 現在のアルコン

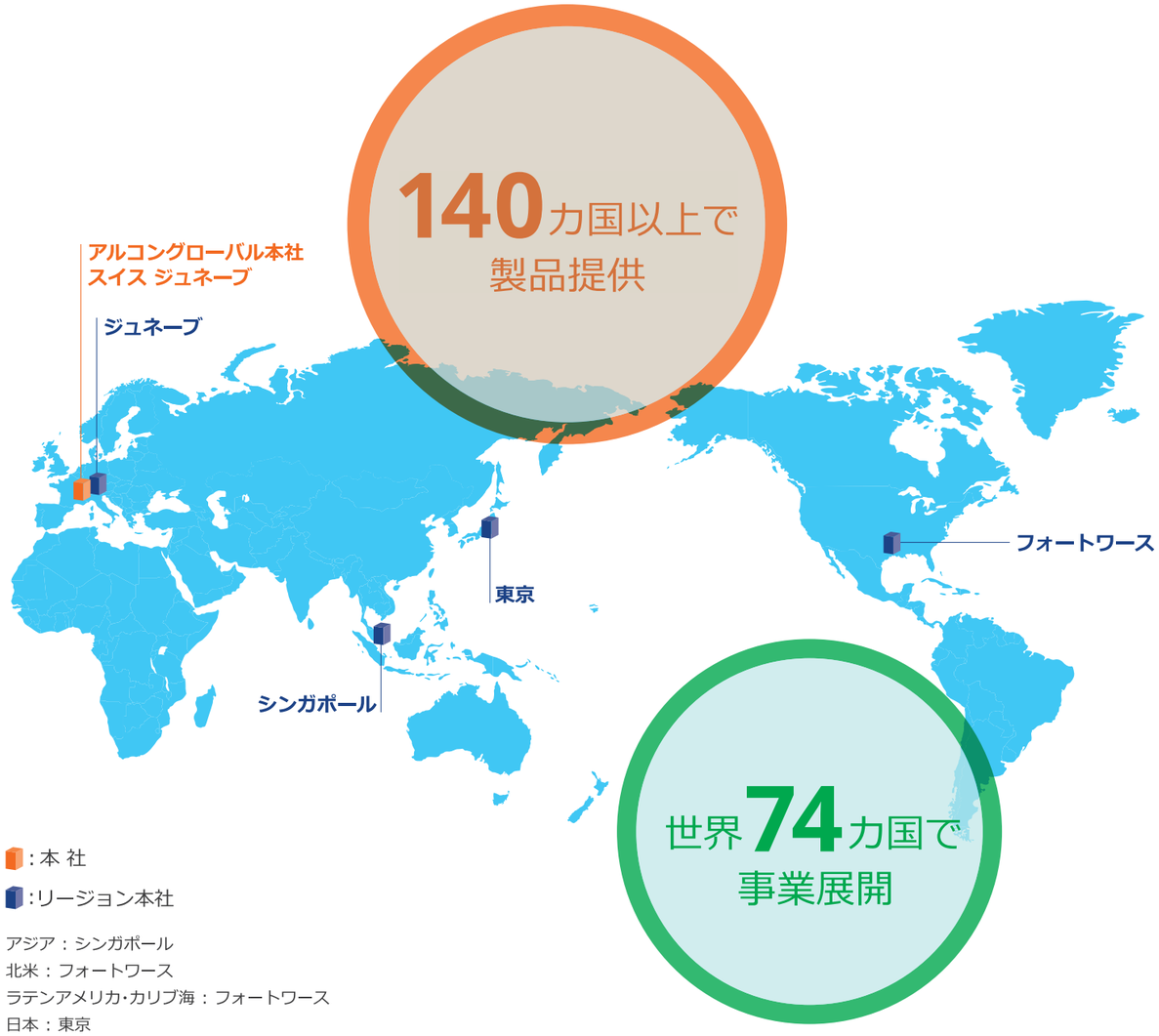
眼科領域の世界No.1※ 企業へと成長

アルコンは、今や眼科領域で世界No.1の売上※を誇り、世界に2万人以上の従業員を有するまでに成長しました。
現在、世界74カ国で事業を展開し、140カ国以上で幅広いアイケア製品を提供しています。

※2017年アルコン調べ、GFK、IMS、ニールセン、CBG、ユーロモニター、マーケットスコープによるデータに基づく。
眼科手術用医療機器市場、および、コンタクトレンズ、大衆向けアイケア製品市場における合計売上額

2019年、新生アルコン誕生

2019年4月、アルコンは独立医療機器メーカーとしてニューヨーク証券取引所、および、スイス証券取引所に株式を上場しました。
また、グローバル本社をスイスのジュネーブに置き、新生アルコンとして新たな道を歩み始めました。



■：本 社
■：リージョン本社

アジア：シンガポール
北米：フォートワース
ラテンアメリカ・カリブ海：フォートワース
日本：東京
欧州・中東・アフリカ・ロシア：ジュネーブ

Our Business | アルコンの事業

増大するアイケアニーズに応えるアルコンの製品群

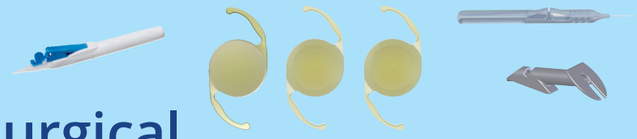
日本の高齢化は急速に進展し、世界の高齢化率（高齢者人口比率）の先進諸国比較で日本は1位にランクされています[1]。そして、2060年には約2.5人に1人が65歳以上の高齢者になると見込まれています[2]。またスマートフォンやパソコンを使用する現代生活において近視が増えており、2050年までに世界人口の約半数の50億人もの人が近視になると予測されています。こうしたトレンドに伴い、アイケアへのニーズは拡大、進化しています。アルコンはこれらのアイケアニーズに応えるべく、研究開発への投資を強化し、革新的かつ広範にわたる製品を取り揃えています。

Surgical

インプラント製品

アクリソフ®眼内レンズ
- 1994年の発売以来、世界で1億眼以上のインプラント実績
- 球面、トーリック、多焦点（老視矯正）
- 「ウルトラサート™」プリロード デリバリーシステム
- 日本初の3焦点眼内レンズ　「AcrySof® IQ PanOptix® Trifocal」（2019年発売予定）

「Clareon® AutonoMe™」プリロード デリバリーシステム
「アルコン®エクスプレス®」緑内障フィルトレーションデバイス



ディスポーザブル製品

- 白内障手術用ディスポーザブル製品
- 網膜硝子体手術用器具とディスポーザブル製品
- 手術用カスタムパック
- 屈折矯正手術用ディスポーザブル製品

手術装置

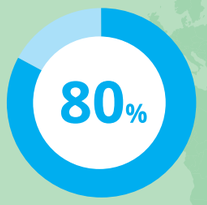
- 白内障手術装置
- 硝子体手術装置「コンステレーション ビジョンシステム」
- 「NGENUITY®3Dビジュアルシステム」
- 屈折矯正手術装置「ウェーブライト®」システム

Vision Care

	近視・遠視用	乱視用	遠近両用	カラー	レンズケア製品
1日使い捨てコンタクトレンズ	DAILIES TOTAL 1 / DAILIES AquaComfort PLUS / DAILIES AQUA	DAILIES AquaComfort PLUS	DAILIES TOTAL 1 / DAILIES AquaComfort PLUS	Freshlook ILLUMINATE / Freshlook ONE-DAY COLOR ※	
2週間／1カ月交換コンタクトレンズ	AIR OPTIX plus HydraGlyde / AIR OPTIX EX AQUA	for ASTIGMATISM AIR OPTIX	MULTIFOCAL AIR OPTIX AQUA	AIR OPTIX BRIGHT / AIR OPTIX COLORS	

※2019年8月以降の新パッケージ

世界のアイケアニーズに対応



視覚障害の80%は、
予防または治療が可能です

未矯正の屈折異常
1億5,300万人[10]

老 視
17億人[11]

ドライアイ
3億5,200万人[12]

1. 内閣府
2. 平成28年版厚生労働白書 ―人口高齢化を乗り越える社会モデルを考える―
   厚生労働省ホームページ「平成20年度 主要疾病患者数推計」より
3. 平成29年社会医療診療行為別統計（厚生労働省）平成29年６月審査分
4. 日本眼科学会ホームページ内「目の病気」ページより
5. 緑内障診療ガイドライン（第3版）より
6. 2016年 日本アルコン調べ
7. Global Prevalence of Myopia and High Myopia and Temporal Trends from 2000 through 2050, Holden, Brien A. et al., Ophthalmology, Volume 123 , Issue 5 , 1036 – 1042
8. 2013年アルコン調べ
9. 2018年アルコン調べ
10. World Health Organization (WHO), www.who.int/blindness
11. Global Prevalence of Presbyopia and Vision Impairment, 2018 Oct;125(10):1492-1499. doi: 10.1016/j.ophtha
12. Epi Database. Kantar Health. June 2015. Custom Dry Eye Self-Reported Prevalence ages 40+, 16 markets

白内障

日本では年間約140万件の白内障手術が行われています[3]。白内障の大半は加齢に伴うもので、自覚症状はなくとも水晶体混濁のある人は、80歳代のほぼ100%ともいわれています[4]。

緑内障

日本の失明原因の第1位である緑内障は、40歳以上の約5%、つまり20人に1人が罹患しており、その90%が潜在患者であると報告されています[5]。

屈折異常（近視／遠視／乱視）

12-59歳までの77.4%が視力矯正を必要としており、うち24%がコンタクトレンズを装用していると推定されています[6]。とりわけ、テレビ、パソコン、スマートフォーン、読書など近くを見る作業が多い現代生活において、目への負担は増大しており、2050年までに世界の近視人口は50億人にまで膨れ上がるとも言われています[7]。

老 視

40歳代の約80%が「近くの見え方に困っている」という、老視の症状に関する悩みや不便さを感じているというデータがあります[8]。
また、45-59歳の親を持つ全国男女600名に行った意識調査で、子どもが親の老いを感じる行動として「モノを遠ざけて見るしぐさ」が第1位に挙げられました。さらに、約8割が自分の親は老眼対策をしていないと回答しました[9]。

Our Commitment | アルコンのコミットメント

絶え間ないイノベーションの追求

世界一流の科学者とエンジニアによって構成されたアルコンの研究開発チームは、より良い治療結果をもたらし、アンメットニーズにお応えするために、日々、技術開発に取り組んでいます。

研究開発チームは、病院を訪問し、手術を見学することで現状を把握しています。また、アイケア専門家と定期的に面会し、アルコン製品と将来のアイケアニーズに関するご意見やアドバイスをいただき、研究開発のヒントを得ています。さらに戦略的買収と提携によってパイプラインの充実を図っています。これらの活動により、いち早くイノベーションを発見し、市場に重要なアイケア製品を投入することに努めています。

研究開発への投資額年間約**5**億米ドル

100以上もの開発プロジェクト

社外から**20**件以上ものイノベーションを取り込み（2016年以降）

1,200人以上の社員が研究開発に従事

安心・安全で、高品質な製品の提供

私たちは「アルコンの品質方針」に基づいて、日々、製品開発や製造、品質保証管理を行っています。そして、世界中のどの市場においても最も厳格な法的要件に準拠し、ビジネスプロセスと品質マネジメントのあらゆる側面において、継続的な改善を図っています。また、日本独自の取り組みも行い、安全・安心で高品質な製品の提供に努めています。

日本に製品検査センターを設置

日本の高い品質基準を熟知した日本人スタッフが製品検査を行い、日本のお客様の声をグローバル本社および製造工場のチームに日々届けています。それが継続的な品質向上に生かされています。

24時間**365**日対応フリーダイヤル

安心・安全に当社のビジョンケア製品を使っていただくため、24時間365日対応のフリーダイヤルを設けています。

眼科医療発展のために

年間**80**以上の全国・地域レベルの学会やセミナーを支援

硝子体手術講習会（AVS）

日本アルコンは数年ごとに硝子体手術講習会を「硝子体手術講習会」事務局と共催しています。同セミナーは日本で最も長く継続している硝子体手術に関する講習会で、毎回、海外から世界的に著名な硝子体手術の指導者をお迎えし、最新の網膜硝子体手術の手技や技術等について学ぶ機会を提供しています。

2005年以来、計**28**名に眼科海外フェローシッププログラム参加費を授与
（2018年末現在）

Alcon Japan Hida Memorial Award

眼科分野の進歩を奨励・助成すると共に、将来わが国における眼科臨床のリーダーとなりうる眼科医師の育成を支援するために、「Alcon Japan Hida Memorial Award」を2005年に創設し、毎年実施しています。40歳以下の日本の医師免許証を有する眼科医師を対象とし、Clinical Advisory Committeeによって選ばれた受賞者2名に、海外眼科フェローシップ プログラムへの参加助成金5万ドルを授与しています。

年間約**200**件の研究助成（2018年実績）

年間約**50**件以上の教育助成（2018年実績）

約50もの研修プログラムを年間約**250**名のアイケア専門家に実施（2018年実績）

約3,400名に対し年間**1,000**件以上のウェットラボを実施サポート（2018年実績）

アルコン・エクスペリエンス・センター

日本のアイケア専門家の方々により良いサービスを提供するため、日本全国16拠点にアルコン・エクスペリエンス・センターを2017年に開設いたしました。ウェットラボ、研修用クリニック、フィールドサービスラボ等を備える※同センターでは、技術サポートを提供するほか、アイケア専門家の方々に当社製品を適正にご使用いただき、患者様により良い治療結果をもたらすために、体験型研修プログラムや各種セミナー、講演会等を実施しています。　※拠点によって、施設・設備は異なります。

アイケアリーダーとしての社会的責任

アルコンは企業の社会的責任を果たすため、世界中の人々が質の高いアイケアを受けることができるための取り組みを行い、予防可能な失明や視力障害の軽減に寄与しています。

その一例として、アルコンは眼科医療に恵まれない世界中の何十万もの方々に高品質なアイケアを提供するメディカルミッションを支援をしています。2018年には、世界全体で約600ものメディカルミッションを支援し、36,000件以上の視力回復手術や、41万4000名以上の方々へのアイケアサービスにアルコン製品が役立てられました。

「アフリカ眼科医療を支援する会」によるモザンビークでの活動

Topics

Global
空飛ぶアイホスピタル

アルコンは、アイケアに恵まれない国や地域の方々の失明防止を目的に世界90カ国以上で活動を行う非営利組織オービス・インターナショナルと35年以上にもわたってパートナーシップを組んできました。航空機にアルコンの手術機器が搭載された「空飛ぶアイホスピタル」は、質の高いアイケアを必要とする国や地域で、現地の方々の眼科治療に使われるのみならず、現地の医師の研修にも役立てられています。

Geoff Oliver Bugbee /Orbis

Japan
学生の目の健康促進活動を支援

日本アルコンは、公益財団法人 日本学校保健会の賛助会員として、小・中・高校生に対する目の健康促進のための活動を支援しています。具体的には、近年問題となっているコンタクトレンズの不適切な使用について、学生にコンタクトレンズ使用に関する正しい知識を持ってもらうための活動を推進しています。

About Alcon Japan | 日本アルコン会社概要

会 社 名	日本アルコン株式会社（Alcon Japan Ltd.）
所 在 地	〒105-6333 東京都港区虎ノ門1丁目23番1号 虎ノ門ヒルズ森タワー TEL 03-6899-5000（大代表）
資 本 金	5億円
設　　立	1973年
代 表 者	代表取締役社長 ロジャー・ロペス（Roger Lopez）
従業員数	約620名（2019年1月現在）
事業内容	眼科領域に特化した医療用医薬品、医療機器およびコンタクトレンズ、 レンズケア製品の製造・販売

事業拠点

東海地方

名古屋営業所／静岡営業所
〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄2-2-1
イノフィスビル7階
TEL 052-262-5461

中国地方

岡山営業所
〒700-0941 岡山県岡山市北区青江1-1-8
住友生命岡山青江ビル4階
TEL 086-223-0210

広島営業所
〒732-0052 広島県広島市東区光町1-13-20
ディア・光町6階
TEL 082-263-5060

四国地方

四国営業所／高松営業所
〒790-0003 愛媛県松山市三番町7-1-21
ジブラルタ生命松山ビル6階
TEL 089-934-4810

九州地方

福岡営業所／沖縄営業所
〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3-13-21
エフビル6階
TEL 092-472-3855

鹿児島営業所／熊本営業所
〒892-0846 鹿児島県鹿児島市加治屋町12-7
甲南アセット鹿児島加治屋町ビル8階
TEL 099-223-9074

中部地方

金沢営業所
〒920-0853 石川県金沢市本町1-5-2
リファーレ5階
TEL 076-232-5621

近畿地方

大阪物流センター
〒581-0067 大阪府八尾市神武町2-24
日本通運天王寺ロジスティクスセンター

京都営業所
〒604-0847 京都府京都市中京区烏丸通押小路上ル
秋野々町535番地 日土地京都ビル8階
TEL 075-212-1021

大阪営業所
〒540-0028 大阪府大阪市中央区常盤町1-3-8
中央大通FNビル19階
TEL 06-6947-3660

神戸営業所
〒651-0086 兵庫県神戸市中央区磯上通2-2-21
三宮グランドビル4階
TEL 078-265-6310

北海道地方

札幌営業所
〒060-0007 北海道札幌市中央区北七条西13-9-1
塚本ビル7号館3階
TEL 011-261-1251

東北地方

盛岡営業所
〒020-0021 岩手県盛岡市中央通3-1-2
盛岡第一生命ビル8階
TEL 019-625-7561

仙台営業所
〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉2-3-7
K2小田急ビル4階
TEL 022-262-4821

関東地方

本 社
〒105-6333 東京都港区虎ノ門1丁目23番1号
虎ノ門ヒルズ森タワー
TEL 03-6899-5000（大代表）

東京テクニカルセンター
〒135-0016 東京都江東区東陽7-5-8　東陽町MLプラザ
TEL 03-3699-0922（技術部）

東京物流センター
〒272-0004　千葉県市川市原木2526-23
日通原木インターナショナルロジスティクスタウンNO.2

館林物流センター
〒374-0113　群馬県邑楽郡板倉町泉野2-41-3
株式会社オールユニール 館林東部物流センター A棟

東京営業所
〒105-6333 東京都港区虎ノ門1丁目23番1号
虎ノ門ヒルズ森タワー
TEL 03-6899-5048

さいたま営業所／新潟営業所
〒330-0803 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町1-20-1
大宮中央ビル4階
TEL:048-640-6566

横浜営業所
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-17-2
フォンターナ新横浜6階
TEL 045-473-2610

千葉営業所
〒261-8501 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3
幕張テクノガーデンD棟7階
TEL 043-272-9131

カスタマーサービス（製品の受注に関するお問い合わせ）
TEL 0120-07-8810 医療機器・サージカル医薬品
TEL 0120-16-4611 コンタクトレンズ・レンズケア製品

Alcon.co.jp
会社概要、沿革、疾患に関する情報、製品情報、
採用情報等を掲載しています

alcon-contact.jp
アルコンのビジョンケアー般消費者向けサイト。コンタクトレンズと
レンズケア製品についての情報を提供しています

cataract-iol.jp
白内障についての一般消費者および患者様向けのサイト。
白内障の治療に関する情報を提供するほか、眼科検索もできます

Alcon
日本アルコン株式会社
〒105-6333 東京都港区虎ノ門 1-23-1 虎ノ門ヒルズ 森タワー
www.alcon.co.jp